

元気いき  
いき!

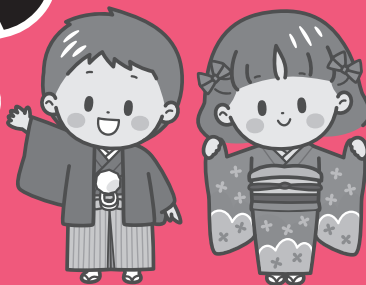
こども広報

2026.1.9

No.143

# くまがや キッズ

KUMAGAYA  
KIDS



も  
く  
じ

1p…夢・未来 熊谷ジュニア議会

2・3・4p…ウィークエンドサイエンス

5p…秋休みわくわく探検隊

6p…学校紹介(熊谷南小学校)

7p…インフォメーション

8p…熊子連球技大会

放課後子供教室の活動の紹介  
編集後記

## 第20回 夢・未来 熊谷ジュニア議会

11月14日(金)市議会本会議場

令和7年11月14日(金)埼玉県民の日に、市内16の中学校の代表の生徒がジュニア議員となり、「第20回 夢・未来 熊谷ジュニア議会」が市議会本会議場で開催されました。

ジュニア議員のみなさんは、夏休みにワークショップを行い、お互いの交流を深めたり、熊谷市について関心を高めたりして、議会当日に向けて準備をしてきました。

ジュニア議会の前半の議長は、中条中学校の巻島悠人さんが務め、後半は、副議長の妻沼東中学校の清水帆乃華さんが務めました。

実際の議場の議員席に座るジュニア議員のみなさんは緊張の面持ちでしたが、議長に名前を呼ばれ大きな声で返事をし、演壇に向かい質問をする姿は堂々としていました。

質問の内容は、「熊谷市の認知度アップ」「暑さ対策」「高齢者の健康」「子育て支援」「ムサシトミヨについて」「熊谷市の名物」「事故防止」など様々でした。どの質問もジュニア議員のみなさんの熊谷を良くしたいという思いや、熊谷市民のみなさんへの思いやりの気持ちが込められた質問でした。それらの質問に小林哲也市長、渋谷昌美教育長、市執行部の方々から、詳しくわかりやすい答弁がありました。

閉会后、小林市長と小鮎議長から講評をいただき、「堂々と質問をしていて頼もしかった。」「地域のリーダーとして活躍してほしい。」「熊谷市のことをもっと知って好きになってほしい。」との言葉がありました。

すばらしいジュニア議会でした。これからも、熊谷市のためにできることを考え、実行していきましょう。





# ウィークエンドサイエンス



令和7年 10月13日(月)

スポーツの日

## バスで行く自然観察 「赤城山の美しい自然を探る」

赤城山周辺

市役所から大型バスで赤城山へ出発しました。車中から見える山々の名前や解説をサイエンスボランティアの小池博先生と栗原伸行先生から聞きながら赤城山へ向かいました。途中自然に群生している白樺を見て、ヤドリギや道端に咲いているリンドウを見つけ、小沼湖畔でお弁当を食べ、鳥居峠から覚満淵へと向かいました。かつてケーブルカーがあった鳥居峠から熊谷の位置を確認しました。そして、覚満淵では足元に注意しつつ木道の上を歩きました。この湿原は、マグマが噴き出して山頂付近が陥没してカルデラができ、そこに大沼、覚満淵ができたそうです。小池博先生の解説を聞きながら湿原に生息する植物を観察しました。

この日は、秋の日差しが柔らかく風がさわやかなハイキング日よりでした。空には鷹の仲間が飛んでいました。5月初夏からは、ツツジや高原の野草が見ごろになり美しいので、季節を変えてまた来てみてほしいとの説明も受けました。「山の植物や木は移り変わるんだよ。変化に気づけるようになると山好きになるんだよ。」と教えていただきました。

参加者からは、「日頃できない親子でのハイキングが楽しかった。」「ヤドリギの話に興味をもちました。」「花や木の名前をたくさん教えていただきました。」などの感想がありました。赤城山の自然に触れた一日でした。





# ウィークエンドサイエンス



令和7年 10月18日(土)

熊谷市誕生20周年記念事業

『サイエンスショー』

大里コミュニティセンター  
大集会室

121名の児童生徒とその保護者の熱気あふれる会場のステージに、Dr.清水とDr.関口が登場し『サイエンスショー』が始まりました。始まりは、普段目にする傘袋やペットボトルがロケットになって飛びます。ペットボトルロケットはくす玉に向かって飛び、開いたくす玉からは、「20年おめでとう!」のたれ幕が!次は、大きな空気砲が出てきました。大きな丸い穴からドーナツ状の白い煙がぷかぷか頭上を飛んでいきます。「わー、すごい!次は何かな?」みんなの期待が膨らみます。棒をこすると静電気が発生して、棒の上をすずらんテープがクラゲのようにふわふわ浮かびます。強い風をおこし大きな重いボールを浮かせると会場から歓声があがりました。風船の串刺しに驚き、種の飛び方に自然のすごさを知り、196℃という経験したことがない液体窒素の世界にまた驚きました。他にも手作りホバークラフト、人が入れる大きなシャボン玉などテンポよく行われる実験をわくわくドキドキしながら楽しみました。

参加者からは、「家でもできそうな実験だったので、家でもやってみたい。」「空気砲が楽しかった。」「昔の実験がおもしろかった。」「シャボン玉の中に人が入ってしまってすごかった。」「風船の串刺しは、ドキドキした。」などの感想がありました。

身近なものを使った実験やそれにちなんだクイズで科学の知識を学び、熊谷市誕生20周年記念事業『サイエンスショー』にちなんだ科学の記念品もいただき、心に残る『サイエンスショー』になりました。





# ウィークエンドサイエンス



令和7年11月1日(土)

本物の骨で骨格標本を組み立てよう

大里コミュニティセンター 大集会室

今回は、机の上にばらばらに置かれている本物の骨「クマの手、ニワトリの手羽先、豚の足、シカの足」を写真や図を参考にしながら2人1組になって形にします。初めに、たくさんの骨がパズルのようにぴたりとはまる不思議な感覚を体験しました。「クマの手ってこうなっているのか。」「どこがどうつながっているのだろう?」などという声の中、各組10分程で形になりました。種類を変えて体験してみるとコツがわかってきて早く完成できるようになりました。



次に、もっと大きな全身骨格に挑戦です。今度は、「ブタ、カラス、イルカ、ネコ、ダチョウ」などです。足なのか、背骨なのか、パーツごとに分けていきます。設計図を見ながら組み立てていくなかだんだんと形になってきました。「関節がここに入るよ。」など先生のアドバイスをもとに「だんだんイルカにみえてきた!」など盛り上がってきました。

今度は、さらに大きな「クジラ、マンモス、キリン」の骨に挑戦です。ブルーシートの上に置かれた骨。頸椎の部分を運ぶのに2人で運ぶほど重いことがわかります。キリンの首の頸椎は7個だと学びました。キリンの角の形、目の穴など、実物には迫力がありました。クジラの肋骨は小学生の背丈より長いことも実感しました。



クジラの骨



キリンの骨

「興味のある人は自分でも標本が作れるよ。骨の不思議に触れてほしい。」とのお話がありました。参加者からは、「骨にはつながりがあることがわかった。」「直接触れることができて驚いた。」「組み立てが楽しかった。」などの感想がありました。

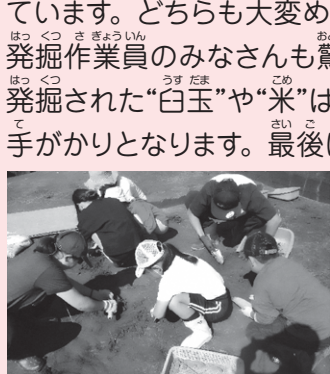
# 遺跡発掘探検隊

令和7年10月17日(金)

場所 上之土地区画整理地内 諏訪木遺跡



今回の遺跡発掘探検隊は“古墳の発掘”という、これまでに経験のない遺跡発掘に挑戦します。この古墳は7世紀ごろ、この地域に住んでいた力のある人のお墓です。すでに“円筒埴輪”が発見されており、これは“大発見”の予感です！江南文化財センターの腰塚博隆先生に教えていただき、シャベルを手に親子で慎重に掘り進めます。すると次々に土器が見つかりました。そして、ついに新発見！それは小さな丸い形をし、中央に穴が開いています。古代の人が身に着けた装飾品の“白玉”です!!また、もうひとつ。黒く炭になった“米”です!!目で見て分かるほど、形が残っています。どちらも大変めずらしい“大発見”です！作業を見守ってくださった発掘作業員のみなさんも驚き、大発見と一緒に喜んでくださいました。今日発掘された“白玉”や“米”はこれから分析にかけられ、この時代を知る大きな手がかりとなります。最後に腰塚先生から「発掘調査をする我々も、なかなか



できない貴重な発見をすることができました。今日の新発見は今後の研究資料となり、展示も考えていきます。」とお話をいただきました。参加者からは、「お米や土器などいっぱい発見できたので、また発掘したい。」「白玉発見に立ち会えて嬉しかった。」などの感想がありました。



# 荻野吟子探検隊

令和7年10月19日(日)

場所 大龍寺・荻野吟子記念館・光恩寺



荻野吟子探検隊は、埼玉の三大偉人のひとり『荻野吟子』ゆかりのある場所を訪ねます。“大龍寺”は吟子が子どものころ、読み書きなどを学ぶために通ったといわれる寺子屋があったところ。三十三体の観音様も祀られており、そのお顔のやさしさや厳しさについても住職さんに教えていただきました。

次に、探検隊は“荻野吟子記念館”へ向かいます。記念館には、吟子が医師になるまでの多くの困難やそれを乗り越えてきたことを伝える展示がされており、“阿うんの会”の方がわかりやすく教えてくださいました。隊員のみなさんは、吟子の生涯が描かれた“荻野吟子マンガPR動画”を見せていただきました。



次に目指す場所は、“葛和田の渡し船”です。合図の旗を掲げて群馬県側にある船を呼び、利根川を渡って“光恩寺”に向かいます。吟子が生まれた家から移された“長屋門”があり、当時の様子が再現されています。探検隊と一緒に吟子ゆかりの場所を回ってくださった市史編さん室の田邊むつみ先生に、光恩寺にある文化財や利根川が当時果たしてきた役割など、興味深いお話をたくさんうかがいました。

参加者からは、「荻野吟子は粘り強く頑張って医者になったことを知った。」「はじめて船に乗れて楽しかった。」「吟子さんが簡単に医者になることができなかったことを初めて知った。」などの感想がありました。



☆『荻野吟子マンガPR動画』熊谷女子高校“漫画愛好会”が制作し、熊谷高校の生徒が声の出演をされています。

# 熊谷市立熊谷南小学校

私たちの通う熊谷南小学校は、今年で創立79年を迎えました。熊谷南小学校の教育目標は、「かしこく やさしく たくましくを实践できる児童の育成」です。先生方と児童255名が目標達成を目指しています。そんな熊谷南小学校の自慢を4つ紹介します。

## 自慢① 南小に通うと幸せになれます

熊谷南小学校には、伝統のキャッチフレーズがあります。「熊谷南小に通うと幸せになれます」という言葉です。学校の校章にある「南」の文字は、「幸」という文字が入っています。通うと幸せになれるという言葉のとおり、私たちは毎日楽しく充実した幸せな学校生活を送っています。



## 自慢② 良文暗唱

熊谷南小学校には、俳句や百人一首などを暗唱するチャレンジ暗唱があります。1回目は担任の先生から合格をいただき、最後は校長先生から合格がいただけるように、全校児童が日々練習しています。学年が上がるにつれ内容が難しくなっていきますが、それもやりがいになっています。



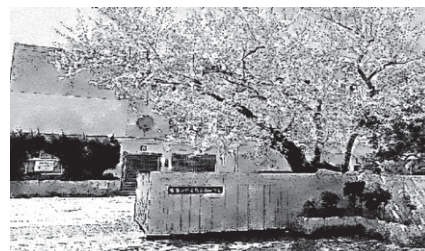
## 自慢③ 縦割り活動で仲良し

休み時間等に、全学年の児童が学年を超えて様々な活動に取り組む、縦割り活動を行っています。「縦割り遊び」では、どんな遊びをするか6年生が1年生たちと一緒に考えて、みんなで楽しめるように工夫しています。遊びのほかに、異学年で清掃活動や校庭の草むしりにも取り組んでいます。一緒に活動する時間を重ねるうちに、みんな仲良く絆が深まっていきます。



## 自慢④ 学校のシンボル さくらの木

正門のまわりにはさくらの木があり、毎年春になると満開の花をさかせています。このさくらの木は、毎年私たちに春の訪れを教えてくれる大切なシンボルとなっています。今年も、春に満開の花を咲かせて、卒業生や新入生を見守ってくれました。次の3月には私たち6年生の卒業を、満開の花と共に見送ってくれることでしょう。



担当：令和7年度代表委員

6年 根岸 由弥 宇田 蘭夢 高瀬 周平 湯澤 歩奏

## 熊谷市立熊谷図書館

お申し込み・問い合わせ  
〒360-0036 埼玉県熊谷市桜木町 2-33-2  
TEL 048-525-4551 FAX 048-525-4552  
URL <https://www.kumagacity.library.ne.jp/>

### おはなし会

日時 第2、第4土曜日(2月は工事休館のため第2は中止) 11:00~11:30  
内容 いろいろなおはなしや絵本を楽しむ会です。  
対象 4歳~小学生のひとりで聞ける子ども(保護者入場可)  
場所 視聴覚室(2階) 費用 無料 定員 なし  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までに2F視聴覚室に来てください。

### ちいさいこのおはなし会

日時 第3金曜日(2月は工事休館のため中止) 10:00~10:30、11:00~11:30  
内容 いろいろなわらべうたや絵本を楽しむ会です。  
対象 乳幼児と保護者  
場所 視聴覚室(2階) 費用 無料 定員 なし  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までに2F視聴覚室に来てください。

## 熊谷市立妻沼図書館

お申し込み・問い合わせ  
〒360-0202 埼玉県熊谷市妻沼東 1-1  
TEL 048-588-6878 FAX 048-588-6054

### おはなし会

日時 第2土曜日 11:00~11:30  
内容 いろいろなおはなしや絵本を楽しむ会です。  
対象 4歳~小学生のひとりで聞ける子ども(保護者入場可)  
場所 おはなし室 費用 無料 定員 無し  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までにおはなし室に来てください。

### ちいさいこのおはなし会

日時 第1、3木曜日(1月は第3週のみ) 11:00~11:30  
内容 いろいろなわらべうたや絵本を楽しむ会です。  
対象 乳幼児と保護者  
場所 おはなし室 費用 無料 定員 無し  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までにおはなし室に来てください。

## 熊谷市立大里図書館

お申し込み・問い合わせ  
〒369-0101 埼玉県熊谷市津田 1-1  
TEL 0493-36-1126 FAX 0493-39-0066

### おはなし会

日時 第3土曜日 11:00~11:30  
内容 いろいろなおはなしや絵本を楽しむ会です。  
対象 4歳~小学生のひとりで聞ける子ども(保護者入場可)  
場所 おはなしコーナー 費用 無料 定員 無し  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までにおはなしコーナーまで来てください。

## 熊谷市立江南図書館

お申し込み・問い合わせ  
〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 325-1  
TEL 048-536-6303 FAX 048-536-6377

### ちいさいこのおはなし会

日時 第2、4土曜日 11:00~11:30  
内容 いろいろなわらべうたや絵本を楽しむ会です。  
対象 乳幼児と保護者  
場所 おはなし室 費用 無料 定員 なし  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までにおはなし室まで来てください。

## 埼玉県立熊谷図書館

お申し込み・問い合わせ  
〒360-0014 埼玉県熊谷市箱田 5-6-1  
TEL 048-523-6291 FAX 048-523-6468  
Mail lib-shicho@pref.saitama.lg.jp  
URL <https://www.lib.pref.saitama.jp/>

### おはなし会

日時 第2、3、4土曜日 14:30~15:00  
内容 いろいろなおはなしや絵本を楽しむ会です。  
対象 ひとりで聞ける子ども・親子  
場所 1F 鑑賞室 費用 無料  
申込期間・方法 申し込みはいりません。始まる時間の5分前までに1F子ども読書室に来てください。

## 埼玉県動物指導センター

お申し込み・問い合わせ  
〒360-0105 埼玉県熊谷市板井 123  
TEL 048-536-2465 FAX 048-536-0800  
URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0716/index.html>

### 保護猫&保護犬 登録団体譲渡会

日時 3月7日(土) 11:00~14:00  
内容 県に登録している保護団体による犬猫の譲渡会を行います。詳しくはセンターHPをご覧ください。  
対象 どなたでも  
場所 埼玉県動物指導センター(熊谷市板井123)  
費用 無料 定員 なし  
申込期間・方法 申し込みはいりません。最終入場は13:30です。  
注意 自動販売機はありません。マイボトルをご持参ください。

## 荒川大麻生公園(県生態系保護協会)

お申し込み・問い合わせ  
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町 1-103-1 YKビル5階(指定管理者所在地)  
TEL 048-645-0570 FAX 048-647-1500  
URL <http://www.eco-saitama.or.jp/activity/shitei/oaoso/index.html>

### 大麻生自然塾「赤い鳥に青い鳥・冬鳥探検ウォーク」

日時 1月17日(土) 10:00~12:30  
内容 生きものに詳しいスタッフとともに荒川大麻生公園を歩く自然観察会。今回は、バードウォッチングに挑戦します。初心者の方も大歓迎! 小学校高学年~大人(小学生は保護者同伴)  
対象 小学校高学年~大人(小学生は保護者同伴)  
場所 荒川大麻生公園 費用 1人300円 定員 10名  
締め切り 1月16日(金)  
申込期間・方法 12月1日(月)より、平日午前9時から午後5時の間に電話で(要事前申込)  
集合・解散:公園自由広場駐車場  
持ち物:飲み物、帽子、タオル、長袖・長ズボン、観察道具(あれば)、虫よけ、防寒着  
その他

### 大麻生自然塾「火入れ跡の芽生え・冬鳥探検ウォーク」

日時 2月7日(土) 10:00~12:30  
内容 生きものに詳しいスタッフとともに荒川大麻生公園を歩く自然観察会。河原に芽吹く植物や冬鳥たちを探します!  
対象 小学校高学年~大人(小学生は保護者同伴)  
場所 荒川大麻生公園 費用 1人300円 定員 10名  
締め切り 2月6日(金)  
申込期間・方法 1月5日(月)より、平日午前9時から午後5時の間に電話で(要事前申込)  
集合・解散:公園自由広場駐車場  
持ち物:飲み物、帽子、タオル、長袖・長ズボン、観察道具(あれば)  
その他

### わくわく野あそび隊「みんなでひみつ基地づくり」

日時 2月23日(月祝) 10:00~12:00  
内容 荒川大麻生公園の自然を五感をつかって全身で感じましょう。木の枝や枯草を集めて、森の中に秘密基地を作ろう!  
対象 3歳~小学6年生(保護者同伴)  
場所 荒川大麻生公園 費用 1人300円 定員 30名  
締め切り 2月20日(金)  
申込期間・方法 2月2日(月)より、平日午前9時から午後5時の間に電話で(要事前申込)  
集合・解散:公園自由広場駐車場  
持ち物:飲み物、帽子、タオル、長袖・長ズボン、軍手  
その他

## わくわく野あそび隊「水中の世界をのぞいてみよう」

日時 3月22日(日) ①10:00~12:00、②13:00~15:00  
内容 荒川大麻生公園の自然を五感をつかって全身で感じましょう。川や池の中にくらす生きもののたちを観察します!  
対象 3歳~小学6年生(保護者同伴)  
場所 荒川大麻生公園 費用 1人300円 定員 各30名  
締め切り 3月20日(金)  
申込期間・方法 3月2日(月)より、平日午前9時から午後5時の間に電話で(要事前申込)  
集合・解散:公園自由広場駐車場  
持ち物:飲み物、帽子、タオル、長袖・長ズボン、観察道具(あれば)  
その他

## 埼玉県立名栗げんきプラザ

お申し込み・問い合わせ  
〒357-0111 埼玉県飯能市上名栗1289-2  
TEL 042-979-1011 FAX 042-979-1013  
Mail naguri@tokyu-com.co.jp  
URL <http://www.naguri-genki.com/>

### 森の芸術家キャンプ

日時 2月21日(土)~22日(日) 13:00~15:00  
内容 芸術家はいろいろなものから発想し、独創的な作品をうみだします。そして自然は発想の宝庫です! 森にあるものはどれひとつとして同じものはありません。木の枝や葉っぱ、実や石、それぞれの個性を組み合わせ、オリジナルのいきもの標本を作ってみませんか。想像力と独創性、集中力を発揮して、森の芸術家になりましょう!  
対象 小学1年~3年生 場所 名栗げんきプラザ  
費用 1名7,500円 定員 30名  
申込期間・方法 1月22日(木曜日)までに、電話もしくは、名栗げんきプラザホームページのキャンプ・イベント案内にある専用申込用紙を使用し、メールまたはファックスでお申し込みください。専門用紙でお申し込みの際は、希望イベント名、参加者氏名(フリガナ、性別)、年齢、連絡先(電話番号・ファックス・携帯電話番号)を明記してください。  
注意 時間・内容など変更になる場合があります

### いきいき体験活動事業② 天体クラフトと炊き込みご飯作り

日時 3月7日(土)~8日(日) 14:30~14:00  
内容 名栗の3月はまだまだ寒いですが、その分空気が澄んでいるのできれいな星空が見えます。冬の星座と顔を出し始めた春の星座、季節の天体を楽しみましょう。また、天体に関するクラフト作りも行います。2日目にはメスティンという飯ごうを使って炊き込みご飯作りチャレンジします。自然の中での体験を通して、たくさんの思い出を作りましょう。  
対象 小中学校・特別支援学校(学級)の児童・生徒とその家族 ※未就学児同伴可  
場所 名栗げんきプラザ  
費用 大人~高校生 5,500円、中学生5,100円 小学生5,000円、幼児4,500円  
定員 30名  
申込期間・方法 2月5日(木曜日)までに、電話もしくは、名栗げんきプラザホームページのキャンプ・イベント案内にある専用申込用紙を使用し、メールまたはファックスでお申し込みください。専門用紙でお申し込みの際は、希望イベント名、参加者氏名(フリガナ、性別)、年齢、連絡先(電話番号・ファックス・携帯電話番号)を明記してください。(抽選)  
注意 時間・内容など変更になる場合があります

### なぐりNATURE CLUB③ 家庭でできる簡単ほうじ茶づくり

日時 2月11日(水祝) 10:15~12:30  
内容 地域の特産品でもあるお茶を使って、お家でもできる簡単ほうじ茶づくりに挑戦します。冬の寒い日は香ばしい風味のほうじ茶で癒されましょう。焙煎時間を変えれば風味も変わります。自分だけのほうじ茶を作って、楽しいティータイムに。隙間時間で、ティーバックの袋作りにも挑戦します。自分で作る豊かな時間を共有しましょう。  
対象 どなたでも 場所 名栗げんきプラザ  
費用 1名700円 定員 20名  
申込期間・方法 1月4日(日曜日) 9:30から、電話にてお申し込みしてください。(先着順)

# 第58回熊子連球技大会 ～挑み続ける 勝利を信じて 心をひとつに!!～



10月11日(土)・12日(日)・13日(月・スポーツの日) 荒川河川敷運動広場1・2・ソフトボール場

10月11日(土)に熊谷市荒川河川敷運動広場にて、「挑み続ける 勝利を信じて 心を

ひとつに!!」のテーマのもと、第58回熊子連球技大会の開会式が盛大に開催されました。

当日は、朝早くから、タグラグビー・フットベース・ソフトボールの全チームが集まりました。

開会式では、小林哲也熊谷市長をはじめとして、小鮎賢二熊谷市議会議長、渋谷昌美

熊谷市教育委員会教育長が、熊子連の選手のみなさんに激励のエールをおくってくださいました。そして、選手宣誓では、久下ドルフィンくげの金井想太さんかない そうた、FC深谷キッズふかやの佐藤杏樹さんさとう あんじゅ、長井ミラクルながいの中村希希さんなかむら つむぎの3人が今大会に臨む気持ちを誓ってくれました。

開会式の後には、タグラグビーの試合が行われました。あいにくの雨模様でしたが、チームのみんなで声を掛け合い、パスをつないで、熱い戦いが繰り広げられました。チームの仲間や保護者の方の声援を受けながら、最後まで全力でプレーをしている姿に感動しました。



## 放課後子供教室の活動の紹介

新堀小学校区 新堀ふれあいスクール

令和7年8月23日(土)

新堀公民館で「納涼祭」が行われました。「射的」「輪投げ」「空き缶つみ」「ワニワニパニック」「スーパーボールくじ」のコーナーがあり、子どもたちは、友だちと一緒に遊びました。空き缶つみでは、時間内に何個積み上げられるか、手作りのワニワニパニックでは、ワニがどこから出てくるかドキドキしながら楽しみました。子ども会の保護者や中学生がそれぞれのコーナーを担当し、みんなに楽しんでもらいました。



熊谷西小学校区 西っ子ふれあいスクール

令和7年8月23日(土)



熊谷西小学校の校庭で熊谷西小おやじ倶楽部主催の「納涼祭」が行われました。「ヨーヨーすくい」「ダーツ」「スーパーボールすくい」「射的」などの遊ぶコーナーと食べ物の屋台が校庭に並び、子どもたちやその保護者が楽しみました。途中、消防団の放水のデモンストレーションがあり、子どもたちもホースを持たせてもらいました。夕方6時から、提灯の明かりが付き、盆踊りが始まりました。子どもたちは、はじめは恥ずかしがっていましたが、だんだん櫓のまわりに集まって踊りだし、盛り上がりしました。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。2026年がスタート!新しい年を迎えるのは、なんとなくわくわくしませんか?どんな年にしたいでしょうか?今年頑張りたいことや、やってみたいことを考えると、どんどんやる気がわいてくると思います。まだ考えていない人も是非考えてみましょう!  
「くまがやキッズ」は今年も皆さんの生き生きした活動の様子をたくさん伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

ささき まさみ なくも ようこ  
佐々木 匡美 南雲 葉子  
いとう なおこ ゆもと ゆりこ  
伊藤 直子 湯本 百合子  
きくた くみ こ かみしま えり  
菊田 久美子 神嶋 恵里  
まきの よしえ 叔英

令和8年1月9日発行 ※おたよりをお待ちしています。(ハガキかメールで下記まで)

〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1 熊谷市子どもセンター(熊谷市教育委員会社会教育課内)  
☎048-524-1111(内線394) ☎048-525-9330 eメール shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

この「くまがやキッズ」は、15,000部作成し、印刷経費は、一部13.7円です。